



令和4年(2022) 第56号

発行

広島新四国八十八ヶ所霊場 第三十二番札所

「当山開基老千三百年前」
〈観世音菩薩祈願所〉

真言宗 正観寺
箱島山 慈眼院

行弘 真真
出田 真真
小吉

それ生は我が願うに非ず、無明の父我を生ず。

死は我が欲うに非ず、因業の鬼、我を殺す。 『性霊集』

過去にこだわるな、いまを否定するな、鬼が殺しに来るなら戦う自分を作ればよい——お大師さまはそう言っているのです。身も心も弱ってしまったときは、「いまを生きよ」というお大師さまの声で、心を奮い立たせてください。

やすらぎを求めて ～写経のススメ～

新型コロナウイルスで思うように外出ができず、ご自宅で過ごす時間が増えていきます。心身が落ち着かずストレスがたまりがちです。太古の昔から疫病というものはありました。医学の発達していない時代は、疫病が発生するたびに、国をあげて疫病退散の祈願をおこなったと云われています。ペスト、天然痘、スペイン風邪…様々な疫病が世界中を襲ってきました。

お大師さまの時代にも疫病は蔓延しました。時の嵯峨天皇に写経をお勧めし、「般若心経秘鍵」を著し、国民の心身の健康を祈願されました。この状況だからこそ、お一人お一人の身心安楽、疫病退散、早期終息の祈願を込めて、心を込めて写経されますことをお勧め申し上げます。写経は場所を問わずできるのも魅力であります。

納められた写経は（ご本尊、聖観世音菩薩）のご宝前でご祈願の後、経蔵にお納めし、令和の人々は写経に込めた祈りによって、この世界的な国難を乗り越えようと願ったことを未来に遺し伝えさせていただきます。皆様の身心安楽と一日も早い感染終息を、心よりご祈願申し上げます。

お寺の方でも、NHK文化センターで、「般若心経写経教室」を月一回開いていますので、ご興味があります方は、ご連絡ください。

星供養『星祭り』とは？

「開運・厄除け」息災を祈り心の鬼を払う

真言宗では『星祭り』を「節分」の日に厳修します。その理由は、当日を「年取りの日」と云って、立春を年の初めとする考えから、節分の日はその前日、つまり一年の境であるとみなすところからきています。

真言宗において、除災招福、無病息災を祈禱するために、個人個人の「当年星」と「本命星」を祀る祭りの事を言い、「星供養」、「星供」とも呼ばれています。

密教占星術では、北斗七星の七つの星のうち一つを、その人の「本命星」と定め、一生変わらない宿命を司る星として考えられています。そして、一年ごとに巡ってくる吉凶を左右する廻り星を「当年星」と呼んでいます。

正観寺でも、(毎年二月三日午前十時三十分より) 星曼荼羅を掲げ、お大師さまが持ち帰った秘法を厳修し、陀羅尼(星の真言)を唱え、北斗護摩を焚き、祈禱をお寄せいただいた皆さまのご祈願をいたします。どなたさまも、是非お参り下さい。ご祈禱のお礼は二月三日の「星祭り」祈禱会終了後に送付いたします。



下座行
〜本堂(床張り替え)工事〜

令和三年八月三十日〜令和三年九月十五日に、本堂(床張り替え)工事を行いました。無垢の檜を使用し、経年とともに変化していく色やツヤを味わえるよう、掃除⇨下座行に励んでいく次第です。

僧侶の間では、掃除を下座行として毎日の生活に取り込み実践をします。毎日掃除をすることにより、環境をきれいにすると同時に、自らの心のホコリの掃除をしていることにもつながります。

又、作業中、一心に掃除すれば頭から雑念や悩みがひと時でも消え、脳の休憩にもなります。そうすればまた色んな事を前向きに考えることができます。

皆さまも掃除(下座行)によって身の回りの環境を整え、心を整え、穏やかに前向きに人生を過ごせることをお祈りします。



燈明の功德
〜「常燈明」ご奉納〜

この度、篤信徒さまに、「常燈明」をご奉納いただきました。深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

常燈明とは、神さま、仏さまなどに常にともしておく「あかり」であり、ご本尊さまの前で常に輝いています。仏教においてはサンスクリット語の「ディーバ」の訳で、闇(無明)を照らす知恵の光とされ、重要な供養のひとつとされます。

皆さまのご家庭の御仏壇の中、蝋燭や電球も同じ燈明です。燈明は自身を燃やして周囲を明るく照らすので、自分を削って、他の人のために施す菩薩行の考えとも似ています。

又、燈明の光によって心の闇を隈なく照らし、本来の清らかな人間に立ち帰ることができ、家庭や社会を明るくさせることもでき得るのです。



父母恩重經
〜十種の恩徳〜

第一には、子どもを身ごもったと知るや、母は腹の中の子どもを大切に守護しつづけた。その恩である。

第二には、出産のとき、母は激しい苦しみに堪えた。その恩である。

第三には、母は子どもを身ごもっている間の苦しきも、生まれるときの苦しきも、出産と共に忘れてくれたのだ。その恩である。

第四には、母は一八〇石(三万二四〇〇リットル)もの乳を飲ませて育ててくれた。その恩である。

第五には、子どもが大小便をもらして布団をぬらしても、父や母は乾いたところを子どもにゆずり、ぬれたところに寝てくれたのだ。その恩である。

第六には、子どもの大小便・不淨物を、けがれたものと思わず喜んで洗い流してくれたのだ。その恩である。

第七には、食事ともなれば、父母は自分たちより先に子どもに食べさせた。また、苦いものは父母が食べ、甘くておいしいものを子どもに食べさせたのだ。その恩である。

第八には、わが子を育てあげたい一念から、時には恐ろしい罪を造るかもしれないのに、悪業をもいとわなかった父であり母である。その恩である。

第九には、いつなんどき、どこにいても、父母は子どもから離れずに子どもを見守り、遠くへ行つたときは子どもの安全を祈りつづけてくれた。その恩である。

第十には、自分たちが生きている間は子どもの苦しみを代わってやりたいと思ひ、この世を去れば、子どもを守護してやろうとする父母の恩である。

このように父母の恩について学んでみると、父母の恩は、どこまでも深く重く限りがなく、まるで空の広さに限りがないのと同じである。

旧本堂特集

副住職（四十才）が子どもの頃、現在墓地がある所に、本堂と庫裏がありました。同級生と野球をしたり、大祭では火渡りや餅拾いをしていました。



石鎚山代表参拝

令和三年度は、コロナ禍により、正観寺檀信徒を代表し、お山開き中（七月七日）に石鎚山へ参拝に行つて参りました。

多数の檀信徒さまに頼られました祈願・お土産（お礼・お守り・御神酒・御神水）を無事に勤めることができ、ホッといたしました。天候にも恵まれ、成就社、頂上社にてご神像を拝めましたこと感謝いたしました。

来年度は皆さまと共に登拝して御神徳を感じたいと思います。尚、代理参拝の祈願（お礼・お守り・御神酒・御神水）も、何なりとお申し付けください。合掌



「境内地墓地」「本堂 納骨堂」「永代供養塔」について



◎境内地墓地 本堂納骨堂 永代供養塔 空気がございます。新たに、本堂裏（右側）に、納骨堂の増設をしました。

↑NEW（納骨堂増設）

—新元号「令和」記念—

「やすらぎ観音さま」の

「ご奉納について」

「やすらぎ観音さま」のご守護を頂戴し、日々の安心の糧にしてみたいかがでしょうか。

本堂内にご奉納されても、仏さまをお持ち帰られて、各ご家庭でお祀り頂いても結構です。

台座の記載はいかようにも対応致します。

現在、七十体のご奉納を頂いています。まだまだ数に余裕がございます。



令和四年度 年間行事予定表

六			五			四			三			二			一		
		十八		十八	一〇三十一	十八	十〇十二	一〇三十一	二十	中旬	十三			三			十八
		観音ご縁日・青葉祭り (弘法大師降誕会)		観音ご縁日	十三詣り	観音ご縁日	奈良(古寺名刹) 巡拝	十三詣り	春季彼岸会・永代合同供養祭	春季彼岸お参り	観音大祭 <small>(大柴燈護摩火渡り・福餅まき ご本尊供・土砂加持 手づくり市)</small>			星祭り(星供養節分会 北斗護摩祈禱)			初観音ご縁日
十二			十一			十			九			八			七		
		三十一		十八	一〇三十一		十八	一〇三十一		十八	中旬			二十五			二十一
		年越祭(除夜の鐘)		観音ご縁日	七五三祝禱		観音ご縁日	七五三祝禱		観音ご縁日・秋季彼岸会 永代合同供養祭	秋季彼岸お参り			盆お参り			弘法大師ご縁日
		納弘法大師ご縁日									地蔵祭り <small>(きゅうり加持祈禱・護摩祈禱 施餓鬼供養・演奏会)</small>			孟蘭盆会・永代合同供養祭 <small>うらばんえ</small>			霊峰石鎚山参拝

《月例行事予定表》

- 一、御本尊「聖観世音菩薩」ご縁日
「諸供養・諸祈願(護摩祈禱)・昼食お接待有」
◎毎月 十八日 午前十時半
十八日が日曜・祭日の場合
お大師さん「弘法大師」ご縁日
二十一日 午前十時半
※(二月・三月・八月) 除く
- 二、般若心経 写経教室 月一回程度(第四木曜)
平日昼間 午前十時半〜十二時
- 三、高野山金剛流御詠歌教室 月二回程度(不定期)
平日昼間 午後十三時〜十五時

《随時受付中(宗派不問)》

詳細はお寺までお問い合わせください。
境内地墓地・本堂納骨堂・永代供養塔
水子納骨堂・水子地蔵尊・やすらぎ観音
正観寺会館(葬儀会場) / (仏前結婚式会場)
先祖供養・水子供養・永代供養
護摩祈禱・厄除け・お焚き上げ・諸祈願・仏事全般等々
随時本四国八十八ヶ所霊場お砂踏み可

〒735-0029 広島県安芸郡府中町茂陰二丁目二一八―四
TEL 〇八二二一五六六二
FAX 〇八二二一八五五三〇
E-mail: info@shokanji.com

【広島 正観寺】 検索



○新大州橋・イオンモール広島府中(旧ソレイユ)近く
◎広島高速二号線
府中出入口(温品JCT方面出入口のみ)下車二分
大州出入口(仁保JCT方面出入口のみ)下車二分
◇JR天神川駅下車徒歩七分
◇バス停「新大州橋」府中大橋「下車徒歩三分
(駐車場有り) 正観寺